

県内外家族連れで盛況

夏休み最後の週末 キャンプイン海山

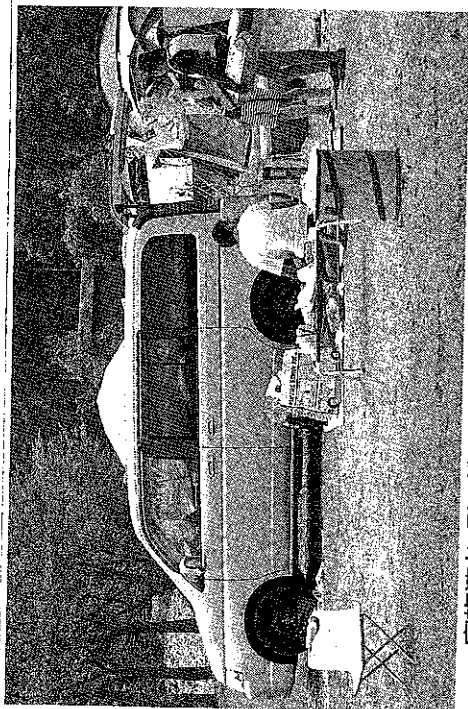
紀北町便ノ山の町営オートキャンプ場「キャンプイン海山」は夏休み最後の週末の27日も多くの県内外の家族連れでにぎわった。銚子側沿いの施設内に40区画あるオートキャンプサイトでは県内のほか大阪府や奈良県、愛知県の家族連れが利用。奈良県生駒市から5人家族で来た男性会社員(44)は「ここはきれいな銚子川で遊べるのがいい。昨年も含めてこれまで3回

利用した。今回は泊3日だが、子どもたちは毎日川で泳いでいたと笑顔だった。キャンプイン海山は指定管理者のNPO法人ふるさと企画舎(田上至理事長)が運営している。昨年度は紀勢自動車道の全通や清流銚子川の知名度アップ、全国的なキャンプブームで利用者数2万4942人、売り上げ5720万円、利益1019万円となり、いずれも1998(平

成10)年のオープン以降、最高だった。

同施設では「天候にも恵まれたので、昨年度1月の7、8月利用者約1万6千人と同じくらいの利用者数になると思う。川での泳やカヌー、芝生で遊ぶなどのほか、島勝浦の和泉の浜まで海水浴に出掛ける利用者もいる」と説明した。

施設は敷地約3万5千平方メートルに管理棟(ゼンターハウス)1棟、コテージ15棟(5人用8棟、6人用5棟、8人用2棟)、リバーオートキャンプサイト40区画、林間オートサイト30区画、炭火焼きハウスや炊事棟、トイレ棟、木工アート広場1棟、芝生広場など。



家族連れでにぎわうオートキャンプサイト(27日、紀北町便ノ山の町営キャンプイン海山で)